

2020

市報 くまがや 12

Vol.183



特集

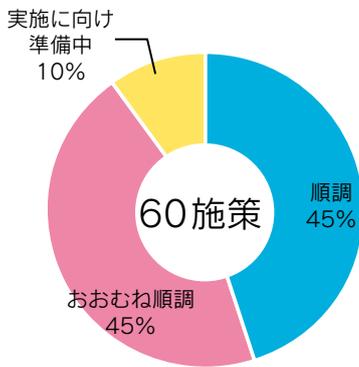
- 政策提言の取組状況を公表します..... P 2
- 新型コロナウイルス感染症に関する情報をお知らせします！..... P 4
- 「まちを愛し、地域を愛し、人を愛する心をめざして」 P 6
- 12月3日～9日は「障害者週間」です
～ともに生き、ともに暮らせるまちづくり～..... P 7

交通ルールとマナーを守りましょう！
 年末年始は、交通事故が多くなる時期です。交通安全は、一人ひとりが意識し実践することで、交通事故ゼロにつながります。交通ルールとマナーを確認し、実践しましょう。
 写真は、吉見小学校で行われた交通安全教室の様子です。

● 熊谷市役所 (本庁舎)	〒 360-8601	宮町 2-47-1	TEL 048-524-1111
● 大里庁舎・大里行政センター	〒 360-0195	中曽根 654-1	TEL 0493-39-0311
● 妻沼庁舎・妻沼行政センター	〒 360-0292	弥藤吾 2450	TEL 048-588-1321
● 江南庁舎・江南行政センター	〒 360-0192	江南中央 1-1	TEL 048-536-1521



*市が行う催しについて、手話通訳が必要な方は、各担当課にお問い合わせください。



進捗率は、評価の合計141ポイント満点の180ポイントで割った値であり、78パーセントとなりました。この結果を踏まえ、自己評価を75点としました。

概要
60施策にわたる政策提言の達成度を実績や取組状況に基づき、次の4段階で評価しました。

順調	おおむね順調	実施に向け準備中	遅れている
★★★★	★★★	★★	★
3ポイント	2ポイント	1ポイント	0ポイント

概要
60施策にわたる政策提言の達成度を実績や取組状況に基づき、次の4段階で評価しました。

◆政策調査課 内線369
新たなまちづくりに向けた5つの政策分野における市長の政策提言について、3年目の取組状況をお知らせします。



富岡 清 市長

1 人を育む

子育て世代への総合的な支援の充実と、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っています。また、小・中学校の校舎の大規模改修やトイレの洋式化など、教育環境の向上を進めています。児童・生徒の学力向上のため、WEB版「くまびスクール」を立ち上げ、家庭学習の充実を図るなど、きめ細かな学習支援を行っています。



市内保育所でのリズム遊び

政策提言	達成度
不育症の治療に対する費用の助成を行うとともに、不妊治療に対しても継続して助成します。	★★★★
子育て世代包括支援センターと地域子育て支援拠点との連携を図り、ワンストップで子育て家庭を応援する体制を強化します。	★★
高等学校卒業までのこども医療費の窓口無料化を継続し、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。	★★★★
企業内保育所の設置や認定こども園への移行を促進し、保育所待機児童「ゼロ」を目指します。	★
医療機関との連携により病児保育を実施し、安心して子育てと仕事が両立できる環境を整えます。	★★★★
放課後児童クラブの計画的な整備を継続するとともに、保育ニーズに沿った受入体制を整え待機児童ゼロを目指します。	★★
子育て応援者の増加を図り、市民が協力して子育てを応援する体制づくりを進めます。	★★
小・中学校の校舎の大規模改修を計画的に実施し、安全な教育環境の整備を図ります。	★★
小・中学校のトイレの洋式化を計画的に実施し、快適な学校づくりを進めます。	★★★★
学力向上補助員の増員や学習支援充実くまびスクールを継続して実施し、児童・生徒に対するきめ細かな学習支援を行うことで、学力日本一を目指します。	★★★★
第三子以降の学校給食を無料化するなど、より良い学校給食の在り方について継続して検討します。	★★
ICT（情報通信技術）を活用し、教育の質的向上と教職員の業務負担の軽減を図ります。	★★
働きたい女性の起業を支援します。	★★

2 産業を育む

企業誘致を推進することで財政基盤の安定および市民の雇用確保を図るため、県内最高水準の支援を行っています。また、市民の居住環境の向上や市内経済の活性化を図るため、住宅リフォームに係る費用を助成しています。



樋春にある物流センター

熊谷流通センター地区周辺の開発を計画的に進め、新たな産業拠点として整備します。	★★
企業立地支援制度の対象を拡大し更なる企業等の誘致を進めるとともに、市内企業の事業拡大を支援します。	★★★★
池上地区のほ場整備事業を推進するとともに、道の駅を中心とする食をテーマとした複合施設を整備し、地産地消の推進とにぎわいを創出します。	★★
上之東部地区のほ場整備事業を引き続き推進します。	★★
県立農業大学校との連携により農業経営を継続して支援します。	★★
良好な農業基盤や豊かな農村環境をつくる地域ぐるみの活動を継続して支援します。	★★★★
トップセールスを推進し、スポーツ観光、企業誘致、農産物の販売促進など、熊谷の魅力を全国に発信します。	★★
個人住宅の居住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、住宅リフォームに係る費用を助成します。	★★★★

3 まちを育む

スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進するため、熊谷スポーツコミッションを設立しました。また、公共交通の利便性向上のため、ゆうゆうバスの新規路線「くまびあ号」の運行を開始しました。アセットマネジメント基本方針等に基づき、熊谷市個別施設計画を策定し、公共施設の適正な管理・更新等を進めていきます。



くまびあ号

政策提言の取組状況を公表します
進捗率78%、自己評価は75点

ラグビーワールドカップ2019™の開催に向け、市民や関係機関と連携し準備を進めるとともに、より多くの遺産（レガシー）が創出される施策を推進します。	★★★★
ラグビーワールドカップ2019™の開催に向け、第2北大通線や市道136号線などの幹線道路の整備を進めます。	★★★★
ラグビーワールドカップ2019™の開催に向け、熊谷駅正面口を交通の利便性が高い駅前広場に再整備します。	★★★★
熊谷スポーツコミッション（仮称）を組織し、スポーツイベントの企画や実施により観光客の誘致を進めます。	★★
うちわ祭を始めとする伝統行事や、妻沼聖天山の国宝「歓喜院聖天堂」に代表される文化財などの地域資源を生かし観光客を誘致します。	★★
中心市街地のにぎわいの創出を図るため、北部地域振興交流拠点施設（仮称）の整備を推進するとともに、中央公民館や商工会館などの施設の再整備について検討します。	★
自転車道のネットワーク化やレンタサイクルの導入など、まちなかの自転車環境の整備を図ります。	★★
より利用しやすい公共交通システムの在り方について検討します。	★★★★
籠原駅北口駅前広場を始発駅にふさわしい籠原地区の玄関口として引き続き整備します。	★★★★
未整備となっている東武熊谷線跡地の道路整備を進めます。	★★★★
上石第一地区の土地区画整理事業を進め、国道17号の拡幅を図ります。	★★
生活道路および排水路の整備等により生活環境の改善と安全対策を推進します。	★★
新たに市内に居住する若い世代の住宅新築や購入を税制面から継続して支援します。	★★
三世同居のための新築・増改築を継続して支援します。	★★★★
アセットマネジメント基本方針等に基づき個別計画を策定し、公共施設の適正な更新・管理を進めます。	★★
行財政改革を推進し、将来の財政需要に対応し得る財政基盤の構築を図ります。	★★★★
幹線道路の整備等に伴い、沿線の有効活用が図れるよう土地利用の見直しを行います。	★★★★
大学や民間企業等との連携により、熊谷市が抱える様々な課題の解決に向け調査や研究を進めます。	★★

4 安らぎを育む

災害時の自助共助の重要性から、自主防災組織について結成や活動の支援をし、組織率が向上しました。また、市街地の安全を確保するため、防犯カメラの増設および防犯灯のLED化を進めています。



自主防災組織の訓練

熊谷独自の暑さ対策を更に充実させ、暑さ対策日本一を継続します。	★★★★
周産期医療の開設を推進します。	★
健康マイレージを実施し、市民の健康づくりを支援します。	★★
市街地に防犯カメラを増設し街頭犯罪の抑止を図り、市民の安全を守ります。	★★★★
防犯灯のLED化を引き続き推進します。	★★★★
商店街の街路灯の整備を推進し、安心安全な街並みの形成を図ります。	★★★★
全小学校の通学路の交通安全対策を整備範囲を拡大して推進します。	★★★★
自主防災組織の結成と活動を継続して支援するとともに、自主防災組織等による「地区防災計画」の策定を支援し、地域防災力を高めます。	★★★★
災害弱者への支援体制の強化を引き続き図ります。	★★
地域防災に大きな役割を担う消防団の機能を更に充実させます。	★★★★
消防力の充実・強化を図ります。	★★★★
住宅用火災警報器の設置を促進します。	★★
「はじめの一步」助成金や「熊谷の力」協働事業提案制度を継続し、市民活動を支援します。	★★
校区連絡会が主体となった地域活動の充実を図ります。	★★

5 自然を育む

豊かな自然環境を守るため、ムサシトミヨやホテルの保護団体と連携した取組を行っており、市民協働事業では「ほたる坂通り」に保護啓発看板3基を設置するなど、生育環境の保全に努めています。また、地球温暖化対策とあわせ、災害に強い自立型電源としての活用も期待される、太陽光発電システムや蓄電システム等の設置に対する補助金を交付しています。



ホテルの保護啓発看板の設置

希少な野生生物を始めとする動植物の生息や生育環境を保全するとともに、保護団体等の活動を支援します。	★★★★
電気自動車の普及を図るため急速充電設備等の設置費用の助成を継続します。	★
燃料電池自動車の普及を図るため水素ステーションの設置を推進します。	★
低公害軽自動車の軽自動車税に対して助成を継続します。	★★
住宅用太陽光発電システムに加え、家庭用蓄電池等の設置費用を助成することにより、一層の地球温暖化防止対策を推進します。	★★★★
5R（リフューズ、リデュース、リユース、リペア、リサイクル）運動を推進し、更なるごみの減量化を図ります。	★
合併処理浄化槽の維持管理への助成を継続します。	★★

年末年始に向けて感染に注意しましょう！

～「5つの場面」で感染リスクが高まる傾向にあります～

◆健康づくり課 TEL 048-528-0601

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下します。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすくなります。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まります。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高めます。

場面② 大人数や長時間に及ぶ飲食

- 長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まります。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まります。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まります。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されています。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です。

場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まります。
- 寮の部屋やトイレなど共用部分での感染が疑われる事例が報告されています。

場面⑤ 居場所の切り替わり

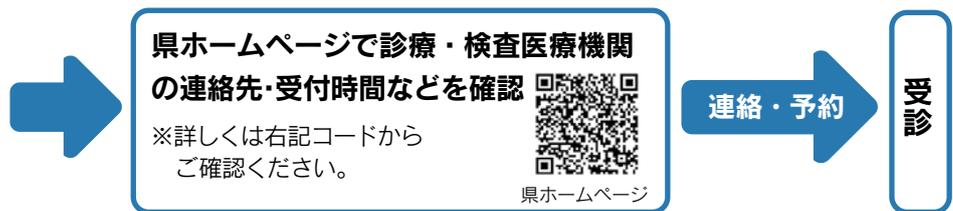
- 仕事での休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる場合があります。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されています。

季節性インフルエンザ流行期に備えた 新たな診療・検査体制をお知らせします

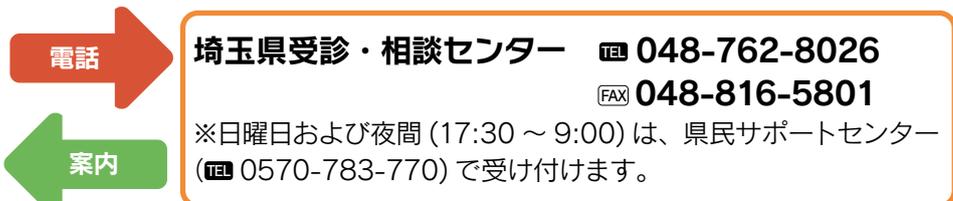
季節性インフルエンザの流行期に入りました。この時期、多発する発熱患者等に対応するため、身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療できる新たな体制が整備されます。発熱等が生じた場合には、下図の流れで医療機関を受診してください。 ◆健康づくり課 TEL 048-528-0601

- 発熱等が生じた場合には、まず、県ホームページで「埼玉県指定診療・検査医療機関」を確認し、必ず事前に連絡・予約した上で、受診してください。
- 受診する医療機関に迷う場合には、受診・相談センター等に電話で相談してください。

発熱患者等



【受診する医療機関に迷う場合】



- 【受診の際の注意点】
- 受診の際は必ずマスクを着用しましょう。
 - 公共交通機関の利用は避けましょう。
 - 診療所等からの指示事項を守りましょう。
 - 検査は医師が必要と認めた場合に行います。



※スマートフォンやパソコンの利用が困難な方は、最寄りの医療機関に電話して発熱患者等を受け付けているかを確認、または受診・相談センターに電話して診療・検査医療機関を確認してください。

新型コロナウイルス感染症に

市内のお店で「Go to Eat キャンペーン」をご利用ください！

市内の登録飲食店で使用できるお得な
埼玉県プレミアム付食事券が発売されます！

販売価格 1冊 1万 2,500 円分の食事券を 1 万円で販売(25 パーセントのプレミアム)

販売期間(第二期) 12 月 1 日(火) 10:00 から(※先着順)

購入方法 事前 Web 申込み 必須の上、予約期間終了後、全国のファミリーマート店内のレジでネットにて購入・引換え

使用期間 3 月 31 日(水)まで



Go to Eat
キャンペーン
埼玉県事務局
ホームページ

申込み一時停止

◆ Go to Eat キャンペーン埼玉県事務局

購入者コールセンター ☎ 048-644-5691(12月28日(月)～1月3日(日)を除く平日 10:00～17:00)

取扱加盟店コールセンター ☎ 048-644-5690(12月28日(月)～1月3日(日)を除く平日 10:00～17:00)

※新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組みながら営業している登録飲食店でご利用になれます。

※登録店の募集も引き続き行っています。詳しくは、上記コードからご確認ください。

いいねがいっぱい！ゴートウクマガヤ キャンペーン

①クマガヤいいね♡発見！体験！レシート大抽選会

市内消費の促進のため、スマートフォンとレシートを使った非接触型の抽選会を実施します。

とき 12月1日(火)～1月17日(日)

◆熊谷商工会議所 ☎ 048-521-4600

②みんな集まれ！星川夜市

中止になった市内各地のイベント参加者にも声を掛け、拡大版星川夜市として開催します。

とき 12月12日(土)17:00～21:00(雨天中止) ところ 星川通りの一部

◆星川夜市実行委員会(木村) ☎ 080-5458-0952

「STOP コロナ」水道料金軽減事業を終了します

市独自の取組として、水道料金の値上げを6か月間延期していましたが、偶数月検針の方は12月検針分から、奇数月検針の方は1月検針分から、改定後の料金となります。

使用者の皆様にはご負担をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、下水道使用料の変更はありません。詳しくは、市ホームページまたは「くまがや水道だより第28号」をご覧ください。

◆経営課 ☎ 048-520-4132

新型コロナウイルス感染症の影響で 事業収入が減少した中小事業者の皆様へ

昨年の一定期間と比較して、事業収入が30パーセント以上減少した場合に、申告により償却資産や事業用家屋の固定資産税等が減額される場合があります。

※詳しくは、右記へお問い合わせください。

◆資産税課 ☎ 内線 370

新型コロナウイルス感染症に関連する偏見・差別をなくしましょう

新型コロナウイルスへの感染に対する不安から、感染した方や感染症に関わる方、また、それらの家族の方などに偏見を抱いて、誹謗や中傷などの差別がみられるという状況が起き、心を痛めている方がいます。

いかなる場合であっても、不当な差別、いじめ、誹謗・中傷などの人権を侵害する行為は、決して許されません。誰にでもウイルスへの感染は起こり得ることで、あなたやあなたの大切な人も感染するかもしれません。

このようなときこそ、一人ひとりがお互いを思いやる心を持ち、差別のない社会を目指しましょう。

人権に関する相談窓口 ◆みんなの人権 110 番 TEL 0570-003-110

◆女性の人権ホットライン TEL 0570-070-810 ◆子どもの人権 110 番 TEL 0120-007-110

人権週間 作品展

とき 12月7日(月)13:00～11日(金)12:00 ところ 市役所本庁舎1階ロビー北
内容 小学生の人権ポスター・標語の入賞作品、保育所(中条・荒川・銀座)の人権啓発作品の展示

人権標語

みとめあおう それぞれ違う みんなの個性

熊谷東小学校 5年 岩瀬 徳真さん

差別ゼロ 笑顔と平和 ワンチーム

成田小学校 5年 佐々木 翔平さん

はなれても 思いやりの糸 ほつれない

吉岡小学校 5年 對馬 青葉さん

ありがとう 笑顔になれる まほうの言葉

籠原小学校 5年 齋藤 瑚都音さん

指先で 人が傷つく SNS

長井小学校 5年 下山 陽大さん

みとめあい みんなちがって 一つの世界

男沼小学校 5年 星野 真依さん

伝えよう 自分の気持ち

聞いてみよう みんなの気持ち
江南北小学校 5年 吉田 莉那さん

人権ポスター



熊谷東小学校 6年
ながしま ひろなお
長嶋 大直さん



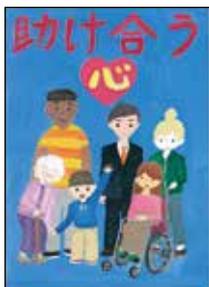
熊谷西小学校 6年
わたなべ るみな
渡邊 瑠美菜さん



大麻生小学校 6年
よしひら うの
吉井 胡乃さん



別府小学校 6年
やまもと ゆい
山本 結衣さん



吉見小学校 6年
せきぐち ゆな
関口 結菜さん



太田小学校 6年
くまがい なぎと
熊谷 凧斗さん



妻沼南小学校 6年
くぼ ももは
久保 桃芭さん

ハートフルセミナー(人権問題研修会・指導者養成講座)

とき	1/19(火) 13:30～15:00(受付開始 12:30)	1/26(火) 13:30～15:00(受付開始 12:30)
内容	【様々な人権問題】 「大人じゃないし 子どもでもない」 ～15歳手強し!! 中学生と人権～	【同和問題】
講師	熊谷市教育委員会社会教育課 社会教育指導員 坂上正明氏	埼玉県人権推進課講師

ところ 江南総合文化会館「ピピア」 定員 各350人(先着順)

申込み 電話またはFAXで下記へ。※手話通訳あり。※定員になり次第締め切ります。※1回だけの申込みもお受けします。

◆人権政策課 TEL 内線 356 FAX 048-525-9222 ◆社会教育課 TEL 内線 388 FAX 048-525-9330

「まちを愛し、地域を愛し、人を愛する心をめざして」
12月4日～10日は「人権週間」「人権尊重社会をめざす県民運動強調週間」、12月10日～16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。
これらの週間を機に人権問題への認識を深めましょう。

◆人権政策課 TEL 内線 356
◆社会教育課 TEL 内線 388

12月3日～9日は「障害者週間」です

～ともに生き、
ともに暮らせるまちづくり～

市では、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、地域で安心して暮らすことができる共生社会を目指し、「ともに生き、ともに暮らせるまちづくり」を基本理念として障害福祉施策を推進しています。

◆障害福祉課 TEL 内線 287

障害者差別解消法を知っていますか？

この法律では、行政機関や民間事業者などに、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止し、また障害のある人から、社会の中にあるバリア(※)を取り除くために、何らかの配慮を求める意思表示があったときに、負担になり過ぎない範囲で対応することが求められています。

※障害のある人にとって、日常生活や社会生活を送る上で、障壁となるもの。例えば、車椅子を利用しにくい施設や障害のある人への偏見など。

「ヘルプマーク」をご存じですか？

外見では健康に見えても、義足や人工関節を使用している、内部障害がある、妊娠初期であるなど、援助や配慮を必要としている人に配付しています。ヘルプマークを付けている人を見かけたら、席を譲るなど配慮をお願いします。

配付場所 障害福祉課、各行政センター福祉担当係

◆障害福祉課 TEL 内線 287



障害をお知らせする目印「愛のワッペン」

外見では、障害があることが分かりづらいお子さんがいます。そのようなお子さんのために障害があることを伝え、周りの方々のご理解とご協力をいただくための愛のワッペンをお渡ししています。

配付場所 こども課、障害福祉課、各行政センター福祉担当係

◆こども課 TEL 内線 289



熊谷市障害者基幹相談支援センター「くまさぼ」 をご利用ください

障害に関する様々なニーズに対応し、途切れない支援を提供しています。暮らしのこと、経済的なこと、まずはどこに相談すればよいか分からない場合など、お気軽にご相談ください。

◆熊谷市障害者基幹相談支援センター

TEL 048-580-4633

FAX 048-524-8790



小中学生向け「心のバリアフリー教室」

互いに理解し支え合う、ユニバーサルデザインのまちづくりを目指して、車椅子体験などを主体に、社会福祉協議会ボランティアセンターと共同で出前講座を実施しています。一般向けとして、学校以外の団体での実施も可能ですのでご活用ください。

◆都市計画課（大里庁舎）

TEL 0493-39-4814



熊谷農業高校2年生の受講の様子

手話は言語です。「熊谷市手話言語条例」

手話は、手や指、体の動き、表情などで表現し、目で見える言語です。「ともに生き、ともに暮らせるまちづくり」を進める熊谷市として、手話は言語であるとの認識に立ち、ろう者への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、地域で安心して幸せに暮らすことができる共生社会の実現を目指しています。

手話で話してみよう！「手話イラストポスター」

熊谷市ろう者協会・熊谷手話サークルでは、手話イラストポスターを作成し、市内各所・店舗等に掲示しています。この機会に、手話を覚えてみませんか。

※右記コードにアクセスすると、スマートフォンなどで身近に見やすい大きさで見ることができます。

◆熊谷市ろう者協会 FAX 048-524-4211 (岩田)

◆熊谷手話サークル (熊谷市社会福祉協議会内 手話通訳派遣事業所)

TEL 048-521-2735

◆障害福祉課 TEL 内線489



手話で話してみよう！ ～表情豊かに、気持ちを伝えよう～

手話で話してみよう！



2017年4月1日に熊谷市手話言語条例が制定されました。誰もが手話で話しあえる熊谷市を目指しています。

～熊谷市手話言語条例について～
熊谷市ろう者協会 熊谷手話サークル

文化功労者の表彰

熊谷市教育委員会表彰規程に基づき、熊谷市文化功労者の表彰式が大里生涯学習センター「あすねっと」で行われ、次の方が表彰されました。

また、教育関係職員 27 人も表彰されました。

◆社会教育課 ☎内線 394



井埜 利博氏
(69 歳) 箱田

氏は、平成 16 年 4 月から長きにわたり、熊谷市立荒川中学校の学校医として、安全で衛生的な教育環境の整備や生徒の健全な成長と健康の維持増進に尽力されています。

また、同時期から小児科医としての知見を踏まえ、乳幼児の保健を推進するため、他の郡市医師会には見られない特色ある取組である園保健会を創設し、園児の健全な発育と健康の維持増進にも貢献されています。

平成 18 年 4 月から熊谷市医師会附属准看護学校長として、平成 26 年 6 月から令和 2 年 6 月まで同医師会看護専門学校長として、地域医療を支える人材となる准看護師および看護師の養成に努められ、熊谷市を中心とした東北の地域医療の発展に貢献されています。

さらに氏は、小児期において種々の健康障害を引き起こす可能性のある受動喫煙の研究に取り組み、本市の児童を対象とした受動喫煙健診の導入に当たっては、専門的な立場から適切な助言および指導を行うなど学校保健の充実に尽力されました。受動喫煙健診の導入は、保護者の禁煙など児童を取り巻く生活環境の改善につながり、他の市町村に先行する事業として高く評価されています。

このように児童、生徒および地域住民の健康増進のため、本市の医療、保健の充実および発展に大きく貢献された功績は、誠に顕著であります。



須藤 蓉子氏 雅号：藤間 勘蓉
(77 歳) 肥塚

氏は、幼少の頃より日本舞踊の精進に努め、永年にわたり後進の指導養成に尽力されるとともに、熊谷市文化連合副会長、熊谷市芸能協会会長として、幅広い知識と技能をもって、熊谷市民の文化芸術の普及・振興に大いに貢献されています。

平成 5 年からは、市内の中学校において「詩舞 実盛慕情」の舞踊指導を開始、その後、幼稚園にも指導を拡大し、その成果は、「地域伝統芸能今昔物語」でも披露されています。さらに、高校や公民館において「直実節」等の舞踊指導を積極的に行うなど、次世代に対し、地域の歴史や文化に対する理解を深めるとともに伝統芸能の普及、継承に大いに尽力されています。

また、本市の国際姉妹都市であるインバーカーギル市との交流では、同市訪問団来熊の際には、日本舞踊を披露し、熊谷市市民親善訪問団としてインバーカーギル市訪問時には、現地の方々に着付け体験をしていただくなど、国際交流と日本の伝統文化の普及にも尽力されました。平成 29 年からは、熊谷市国際交流協会の「外国人のための日本文化体験」において実技披露と指導を行うなど、絶えず日本文化の紹介・普及にも貢献されています。

このように、幅広い活動により日本の伝統文化、伝統芸能の普及、振興、継承に多大なる貢献をされてきた功績は誠に顕著であります。



深町 行男氏
(77 歳) 赤城町

氏は、高校・大学在学中は、器械体操部で数々の輝かしい成績を収め、昭和 40 年からは、高校の教諭として、生徒にラグビーフットボールの指導を行うだけでなく、自身も選手として、5 年連続国体に出場し上位入賞を果たすなど活躍されました。

昭和 46 年からは、熊谷市体操協会理事として、熊谷市体操教室の開講に尽力し、運営役員、指導者として、主に小・中学生を対象として誰もが楽しめる体操教室の企画運営、指導に努められました。理事長在任時には、幼児にまで対象を拡大し、全てのスポーツの基礎となる体操教室は市民から愛され、現在では、多くの申込みがある大人気の教室となっており、子どもたちの体操の基本技術の向上、体力向上、健全育成に大いに貢献されています。

平成元年からは、熊谷市体育協会の要職を歴任され、平成 23 年県下初の公益財団法人化に尽力し、現在も副会長として、各種スポーツの普及のために大いに寄与されています。

さらに、熊谷さくらマラソン大会実行委員会の競技専門委員として、参加者が安全で快適に走れるよう大会運営に尽力され、平成 25 年からは、熊谷市スポーツ推進審議会委員として熊谷市スポーツ推進計画策定にも貢献されました。

このように、スポーツの振興、発展に尽力し、市民の健康や生きがいを、豊かさを実感できる市民生活の構築に寄与された功績は誠に顕著であります。

令和3年度実施 市民協働「熊谷の力」候補事業が決まりました

全4提案の応募があり、書類選考と公開プレゼンテーションによる選考の結果、下記の提案が候補事業として採択されました。
 ◆市民活動推進課 TEL内線 330

種別	団体名	事業名	所管課	提案概要
市提案	熊谷相続研究会	ワンチーム一目瞭然 一件落着事業	安心安全課	空き家増加の原因は少子超高齢社会の相続にあります。相続は100人100通りです。当会所属の専門士がセミナー・相談会・オンライン相談等を通じて、問題の発掘・課題の設定・解決策の提案までワンストップで対応します。

年末年始は交通事故・犯罪被害にご注意を！

冬の交通事故防止運動が実施されます 12月1日(火)～14日(月)

『令和2年熊谷市交通安全スローガン』

事故防止 やさしいアクセル 心にブレーキ

重点目標 二輪車の交通事故防止



二輪車の交通死亡事故が増加しています。事故が起こりやすい交差点では、信号や一時停止の遵守と安全確認を徹底しましょう。

また、二輪車を運転する際は、ヘルメットやプロテクターを正しく着用し、

自身の身体を守りましょう。

重点目標 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

夕暮れ時や夜間は交通事故が多く発生する傾向があります。



歩行者、自転車の早期発見のために、ドライバーは早めのライト点灯と、上向きライトの適切な使用をお願いします。

歩行者や自転車利用の皆さんは、夕暮れ時や夜間に外出する際には、明るい色の服や反射材を身に着けましょう。

重点目標 飲酒運転の根絶および危険運転等の防止

飲酒運転は犯罪です。年末は飲酒の機会が増えますが、「しない、させない、許さない」を合い言葉に、飲酒運転の根絶に取り組みましょう。



また、自転車も車両ですから、飲酒運転は厳禁です。

他の車両の進行を妨害する危険な運転、いわゆる「あおり運転」は犯罪です。絶対にやめましょう。「あおり運転」の被害や万が一の事故に備え、ドライブレコーダーの搭載を検討しましょう。



◆安心安全課 TEL内線 334

年末年始「犯罪被害」に遭わないために

年末年始は、何かと慌ただしい時期でもあり、買物や初詣のため混雑した場所へ出掛けたり、帰省や旅行によって家を留守にする機会が多くなります。特に「侵入盗」、「ひったくりや路上強盗」、「振り込め詐欺・手渡し詐欺」に注意しましょう。

「侵入盗」対策

- 在宅時・不在時を問わず、ドアや窓の鍵をきちんと掛けましょう。
- ごみ出しなどのわずかな時間でも鍵を掛けましょう。
- 1つのドアや窓に、2つ以上の鍵を付けましょう。
- 窓は、防犯フィルムを貼ったり、防犯ガラスにしたりしましょう。



「ひったくりや路上強盗」対策

- 自転車の場合は、前カゴに防犯カバーなどを正しく付けましょう。
- 人通りの多い明るい道を歩きましょう。人通りの少ない道や深夜など、人目がなくなる場所や時間帯は、後方から近づく人、バイク、自転車などに警戒心を持ち、特に注意しましょう。

「振り込め詐欺・手渡し詐欺」対策

- 犯人の電話に出ないように、在宅時も留守番電話に設定しましょう。
- 家族をかたる詐欺の電話には、慌てず一度電話を切り家族に直接確認しましょう。また、あらかじめ家族の合い言葉を決めておきましょう。
- 「還付金があるのでATMに行ってください」は詐欺です。ATMで還付金は戻りません。
- 「あなたは訴えられます」という内容で不安をおおるハガキが市内に多く届いています。書かれている電話番号には決してかけず、警察に相談しましょう。
- 「カードを作り替えるので預かります」と自宅を訪れる詐欺の手口があります。カードは渡さない、暗証番号は教えない、を徹底しましょう。
- お金を郵便や宅配便で送るよう言われた場合は詐欺です。また、お金を郵便（宅配便）で送ることは違法です。
- 電話やハガキを不審に感じたら、家族や警察、市役所に相談しましょう。

◆熊谷警察署 TEL 048-526-0110 ◆安心安全課 TEL内線 339

令和3年度市民税・県民税 事業所得等申告相談会 ◆市民税課 ☎内線247

事業(営業・農業・不動産)所得の収支計算の方法について、相談会を開催します。収支計算に不明な点のある方は、この機会をご利用ください。

市民税・県民税申告会場では、収支の内訳などの書類の作成が終わっていない方や書類が不足している方は受付できません。あらかじめ書類等の準備をお願いします。

なお、申告受付の日程については、1月以降、市報、市ホームページ等でお知らせします。

事業所得等申告相談会

対象	事業所得を申告する方で収支計算書および申告書の作成が困難な方 など
日時	2月4日(木)～8日(月)(土・日曜日を除く) 9:00～12:00、13:00～16:00 (電話による事前予約が必要です) ☎048-524-1111 ☎内線 247
会場	市役所本庁舎 1階 北ホール特設会場

※今回の事業所得等申告相談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**完全予約制**となっています。ご希望の方は市民税課(本庁舎2階)へ事前にご連絡ください。実施困難時には個別にご連絡する場合があります。

※ご自身で収支計算できる場合や、税理士等に依頼する場合には参加は不要です。

※青色申告の方は熊谷税務署(☎048-521-2905)にご相談ください。

3人以上の子どもがいる多子世帯を応援します!

多子世帯(子どもが3人以上いる世帯)の子育てを応援するため、様々な子育てサービスが利用できる「3キュー子育てチケット」を5万円分配布します。

対象世帯 令和2年1月1日以降に第3子以降の子どもが生まれた世帯

※第1子、第2子とも、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの方(第3子の誕生日時点)で、養育している場合に限りです。

交付額 第3子以降の子ども1人につき、5万円分のチケットを交付

対象の子育てサービス

家事ヘルパー、ベビーシッター、一時預かり、親子ふれあいイベント、保育施設等における実費徴収、おむつ・ミルク等の物品購入、任意予防接種、写真館での記念撮影など

※今年度から、赤ちゃん本舗、セキ薬品でのチケット利用、物品購入の対象にベビーカー、チャイルドシート、ベビーチェア、抱っこひも、離乳食、子供服が追加されました。

申請期限 第3子以降の子どもの出生年の翌年3月31日まで

※申請方法や利用方法など、詳しくは右記コードからご確認ください。



県ホームページ



◆埼玉県3キュー子育てチケット事務局
☎0120-39-3192

病児・病後児保育、送迎病児保育をご利用ください

病気または病気回復期にあり、集団保育が困難な市内に住む児童で、保護者の就労等により家庭で保育できない場合に利用することができます。

また、送迎病児保育は、通所している熊谷市内の保育所等で児童が体調不良になり、保護者が就労等の理由により迎えに行くことが困難な時に、病児保育室の看護師等が保育所等に児童を迎えに行き、病児保育室で保護者がお迎えに来るまでお預かりします。

※利用に際しては事前の登録が必要です。詳しくは、直接施設へお問い合わせください。

対象 次の全てを満たす方

○市内に住む生後6か月から10歳未満の児童(送迎病児保育は未就学児のみ)

○病気または病気回復期の児童

○保護者が就労等で保育が難しい場合



市ホームページ
(病児・病後児保育)

市ホームページ
(送迎病児保育)

実施施設名	区分	利用時間	所在地・電話番号	利用料金※
熊谷生協病院	病児保育	月～金曜日 8:00～18:00	上之 3854 ☎048-524-3841	1日2,000円
	送迎病児保育			
籠原のこキッズ保育園	病後児保育 (病気回復期のみ)	月～金曜日 8:30～17:30	籠原南 1-133 ☎048-531-3901	

※この利用料金以外に医師の診療情報提供書・給食費・おやつ等の実費がかかります。

◆保育課 ☎内線538